

## 環 境 報 告 書

令和 4 年 9 月報告

事業所名	鍋林建工株式会社			認定 ランク	. . ○
概 要	所 在 地	松本市島内 3501-1			
	代 表 者	倉科明			
	概要 (従業員数・ 事業内容等)	建設業（一般住宅設計施工、公共工事、防水工事、左官工事、 鋼構造物工事、塗装工事、とび・土工工事、解体工事） ・従業員 28 人			
	担 当 者	所属	本社	名前	横内秀明
	連 絡 先	電話	0263-48-3501	FAX	0263-48-3502

### 環境に配慮した取組み内容

環境に対する理念・方針	1.環境マネジメントを理解し、PDCA サイクルにより継続的改善を行う。 2.環境関連法規を遵守する。 3.環境負荷軽減。 二酸化炭素排出量の削減 化学物質の低減とグリーン調達の推進 廃棄物と水資源使用の削減とリサイクル活用の推進 省エネでエコな建築工法の推進
環境に関する取組み目標	二酸化炭素排出量削減 電力、ガソリン、灯油使用量削減 廃棄物排出量削減 総排水量削減 省エネ住宅施工件数増加 O A 用紙使用量削減 グリーン購入数（水溶性塗料）増加 社会貢献活動（清掃活動等）実施

<p>具体的な取組み内容</p>	<p>電力使用量削減</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ エアコンの温度設定（事務所冷房28℃、暖房20℃）</li> <li>・ O A 機器の効率化使用、P C 電源OFF</li> <li>・ 昼休みの60分間消灯</li> </ul> <p>ガソリン使用量削減</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ アイドリングストップ（エコドライブ10の実施）</li> <li>・ 積載オーバー、不要な荷物は積まない</li> <li>・ 月報距離、給油量を記録する</li> </ul> <p>灯油使用量削減</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 暖房温度管理20</li> <li>・ 時間外事務所使用の短縮</li> </ul> <p>廃棄物排出量削減</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 3 S 活動を進め、資材置き場での資材の定位置・定量化を推進</li> <li>・ 分別徹底とリサイクル（特に古紙、缶ビン）</li> <li>・ 両面コピー、裏紙使用、コピー枚数削減</li> <li>・ 社内文書の電子化</li> </ul> <p>総排水量削減</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 水道水出し過ぎ注意、止水確認</li> <li>・ 洗い物はまとめて洗う</li> </ul> <p>グリーン商品の購入推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ グリーン商品を優先して使用する</li> <li>・ 従業員に周知する</li> </ul> <p>O A 用紙使用量削減</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ コピーの裏面使用、社員の削減意識の徹底</li> <li>・ 会議のプロジェクター利用、電子媒体の利用</li> </ul> <p>省エネ関連工事の受注</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ エアパス工法他省エネ工事の推進と後方活動</li> <li>・ グループ会社の会報を通じて PR する</li> </ul> <p>社会貢献活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 鍋林グループ全体で行う事業所周辺清掃活動</li> <li>・ 所属団体が主催する地域貢献活動に参加。</li> </ul>
------------------	--

<p>実施結果（成果）</p>	<p>2021年度実績</p> <p>二酸化炭素排出量削減：2019年度比2.7%削減目標 95.0%：未達成</p> <p>廃棄物排出量：同上 119.7%：達成</p> <p>総排水量：同上 97.1%：未達成</p> <p>OA用紙使用量削減：同上 119.1%：達成</p> <p>省エネ住宅の受注：17件</p> <p>グリーン購入：15件</p> <p>社会貢献活動：15件</p>
<p>課題・問題点と その改善に向けて</p>	<p>電力使用量目標に対しては達成することができたが、ガソリン、灯油の使用量が増加したため、二酸化炭素排出量目標は未達であった。灯油については、主に冬期の暖房での使用のためエアコンとの併用による効率的なエネルギー利用で使用量の削減を目指す。ガソリンについては、エリア拡大など事業活動が増加しているため、削減のためには、エコドライブを強化するとともに、低燃費の車両の導入も検討する。</p>
<p>その他、 アピールポイント等</p>	